

総務文教委員会

齋藤 和文 委員長コメント

政策課題 ●公立中学校制服選択制の導入について

今回は所管事務調査として、富士市内にある学生服リユースショップ「りんごのほっぺ」を現地調査しました。店内では、富士市・富士宮市の公立私立中学校、公立私立高校のリユースされた制服が販売されておりました。予想以上の制服の多さに、委員をはじめ、番外議員も驚いておりました。

店舗代表者に対して、

- ・なぜこのような店を行おうとしたのか
- ・制服の買取価格、販売価格はどのように決めているのか
- ・需要はどのくらいあるのか

等の質問がなされ、「学生服を必要とする家庭や子どもたちの様々な思いに応えたい」、「SDGs（貧困をなくそう）の観点から子供たちの未来を応援したい」、「需要は多く制服は足りない」等、丁寧に答えていただきました。

昨年から今日までの勉強会や視察を踏まえ、9月議会で政策提言を行い、政策課題を進めていきます。



環境厚生委員会

渡辺 佳正 委員長コメント

所管事務調査 ●市民による清掃センターへのごみ搬入について ●焼却灰の委託処理について

清掃センターへの家庭ごみ持ち込み状況と、最終焼却灰の処理状況について調査を行いました。

市民による家庭ごみの持ち込み車両台数が増えたことで、センター周辺の交通渋滞などで、ごみ処理業務に支障が出ています。ごみ処理業務を円滑に進めるため、市は家庭ごみの持ち込み予約制の導入を検討しています。市民の皆様のご協力をお願いします。

また、ごみ焼却処理で年間4,000トン以上の最終焼却灰が出て、現在は約1,000トンを市内の最終処分場に埋め立て、約3,000トンを外委託処理と再資源化をしています。

将来災害時にも最終処分場が使えるように、市は2年後から最終焼却灰の全量を外委託処理する計画です。

今後の新しい技術開発や焼却灰委託料の動向を見ながら、引き続き検討していく予定です。

日々の暮らしに欠かせないごみ処理は、環境にも大きく影響する問題であるため、多くの市民に一層の関心を持っていただくようお願いします。

